

次は私たちが助けられる番だ。

木脇 優奈

私はこの話を聞いて、人とのつながりが
今まで以上に大切だと思いました。

阪神淡路大震災で、焼けてぐちゃぐちゃに
なった焼けの原や、家かたおれている写真を
見てすごくつらい思いになりました。実祭に
見ていた人は、目を開けなくなかったと思い
ます。他の場所では、水が出ない、電気もつ
かない、ガスも出ない、食べる物がないなん

て私の生活の中では、考えられませんでした。こ
んなじょう体の中で生活していた人は、時こ
くに入るような感実だ、たと思いました。

でも、色々な人たちから、救援物資が来て、
生きる希望が持てたと思います。神戸の人た
ちの人口百五十万人なのに、一三十八万人
のボランティアが来た事がすごくおどろき
ました。なせおどろいたかと言うと、優しい
気持ちを持っている人か、こんなにも多勢いた
からです。私だっただけ、

「水も出ないし、何も無い所になんか行きた
くない。』
と言っ ていたと思います。でもこのお話を聞
いて、私たちの町この神戸市がやせしい気持
ちをいっ はいもらっ ているのだから、助けて
もらっ てありがとうと言う気持ちで、次は私
たちが助ける番だと強く思いました。

今日ならった事を世界中のみんなに伝えた
り、災害がおきた国に防金とかをやるべきだ
と思います。